

*****佛事の常識・非常識*****

Q:四十九日の法要に、お餅 49 個を供えるのですか？ A:浄土真宗の作法にはありません

お正月を迎え、お餅を供えたり、食べたりする機会も多いと思います。最近、時々耳にするようになったのが、四十九日餅とか法要餅といって 49 個の餅を供えるというお飾りです。ただこのお飾りは、一部の地域や宗旨に見られるようですが、浄土真宗(大谷派)の正式な作法としては、決められた数によるお餅のお供えを致しません。

それにしても四十九日法要だから、49 個のお餅を飾るとするのは、数の語呂合わせ以外の何物でもないように思います。言葉は時として独り歩きます。クリスマスと言えば、プレゼントやケーキ。バレンタインデーと言えば、チョコレートと言った具合です。本来の意味など忘れ去られ、多くが商売に結び付けられブランド化された一日になっています。

なお浄土真宗(大谷派)のお餅をお供えする正式な作法は、お正月には折敷の上に鏡餅、平常は杉盛、報恩講の折には須弥盛にします。左の写真の左が須弥盛、右が杉盛。



*****ハッピープレゼントクイズ*****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！
正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

ハカボンのパパ

お釈迦様のマンガを書いたのは誰でしょうか？ 下の中から選びなさい。



- ①やなせたかし
- ②赤塚不二夫
- ③手塚 治虫

正しいと思うものの番号と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。
〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。1/2 2 締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

先月の答え、お釈迦様の誕生日は②の 4 月 8 日でした。お間違いないように。

*****坊守の月イチブログ*****

クリスマスコンサート in 琴平町公会堂

先日、友達家族と娘の音楽の先生である野田純子さんのクリスマスコンサートに行って参りました。今回は金毘羅歌舞伎から坂道を少し降りたところの「公会堂」という建物でありました。その建物は取り壊しの話も出るほど古いのですが、お庭も大変立派ですし、玄関前にはご家来衆が両脇を固めてもぜんぜん余裕のゆったりとした階段が下へと続いています。きっと昔の偉い人のお家だったのでしょ。

「この古い建物は私の声ととても相性がいいのか、私の声を包んで上の方に引きあげてくれるのです。外はとても寒いですが、心はしっかりと温めて帰って下さいね」と、先生の優しいご挨拶でコンサートがはじまりました。クリスマスソングを中心に歌ってくれましたが、中でも「みあげてごらん、夜の星を」を聴いた時はなぜか遠く離れた長男の顔が浮かび、泣けてきました。隣で聴いていた友達も遠く離れた長男が浮かんで泣けたそうです。二人で思わず照れ笑いです、ホントにね……。



@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。